

勸善
懲惡

讀坊講譯

花源堂誌

五位の子
イサ

雪の方

稲妻

うをこころしく
真の廣衆を思ひ鳥静深を慕ふとい由井正節と金井の二個
眞坂東を行巡り障りゆく駒の月毛あき夜の高野山首塚へあど
捜しつゝ明神の森の木隠をひらめけ刀のまはり引返し互の半線
稲妻の闇を貫く道芝ふくは火影小名乗合の昇り降伏
連判の望み金井が及逆も空しく法の場ふ四天王寺と勇名を
残るも横報の本意と謗り

金井谷三郎

稲妻

九一

